

「小1の壁」に関する WEBアンケート調査結果

特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール
2023.03.23

【本件へのお問い合わせ先】
放課後NPOアフタースクール
広報
Email: press@npoafterschool.org

今回の調査から見えてきた重要だと思われるポイント

2 子育てと仕事の両立は大変(84.7%)と感じつつも、家計のために働く(87.8%)

4 61.1%が子どもの放課後の過ごし方に悩む。子どもの放課後の充実に求めるものは「子どもだけで安全に遊べる場」、「友達と一緒に自由に遊べる場」(それぞれ51.6%)

1 小学校入学にあたって過半数が「働き方の見直しを検討(50.7%)」、「子育ての負担(や悩み)が増えた(57.3%)」と回答

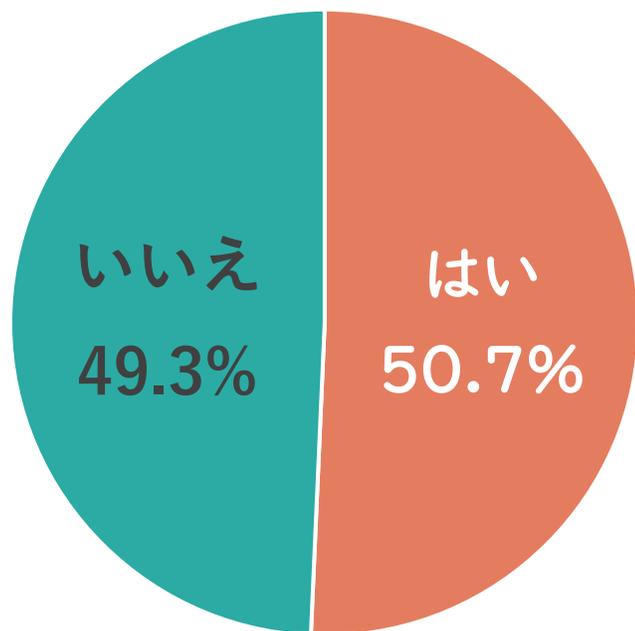
3 子育てと仕事の両立のための三要素は「配偶者の理解(67.1%)」、「放課後の子どもの居場所(53.6%)」、「職場の理解(53.5%)」

放課後に学校施設を活用し、保護者の就労形態にかかわらず、希望するすべての子どもへ、安心安全で、多様な体験機会と学びを提供する居場所に対しては、78.4%が「通わせたい」。

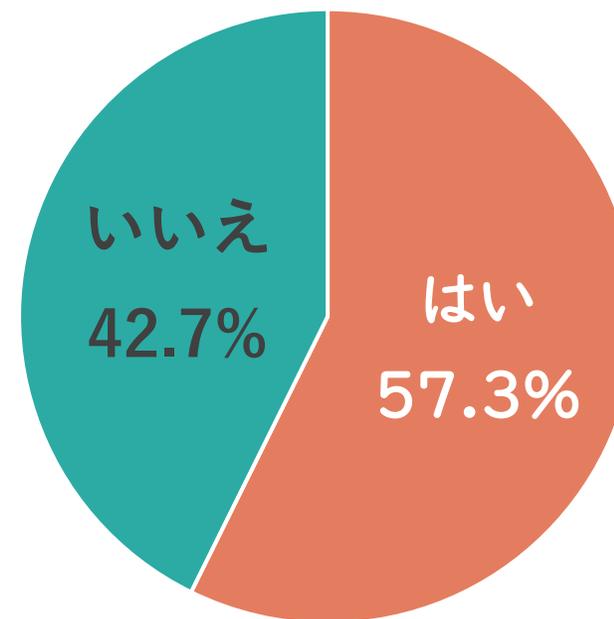
対象者	小学校1年生～6年生の子どもがいる働く女性（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）
調査期間	2023年2月22日～2月26日
調査方法	インターネットアンケート調査会社のモニターを利用したWEB調査
有効回答数	1,000件
調査項目	<ul style="list-style-type: none">• 就業形態（正規/非正規）、年齢、子どもの学年• 子どもの小学校入学に伴う就業形態の変化• 子どもの小学校入学に伴う子育て負担（や悩み）の変化• 子育てと仕事の両立についての意識• 子どもの放課後の過ごし方と悩み• 学校施設を利用した放課後の居場所について

子どもの小学校入学にあたって過半数が「働き方の見直しを検討(50.7%)」、「子育ての負担(や悩み)が増えた(57.3%)」と回答

子どもの小学校入学にあたって、
働き方の見直しを検討しましたか?(n=1000)



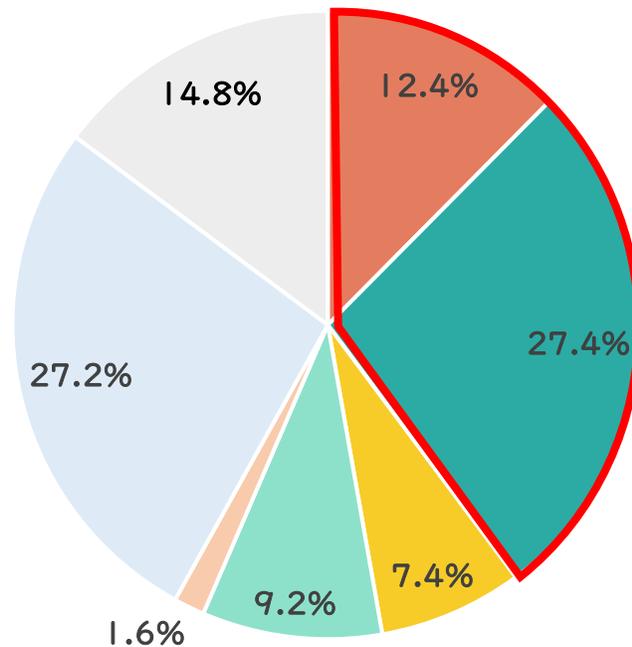
子どもの小学校入学で、子育ての負担
(や悩み)が増えたと感じましたか?(n=1000)



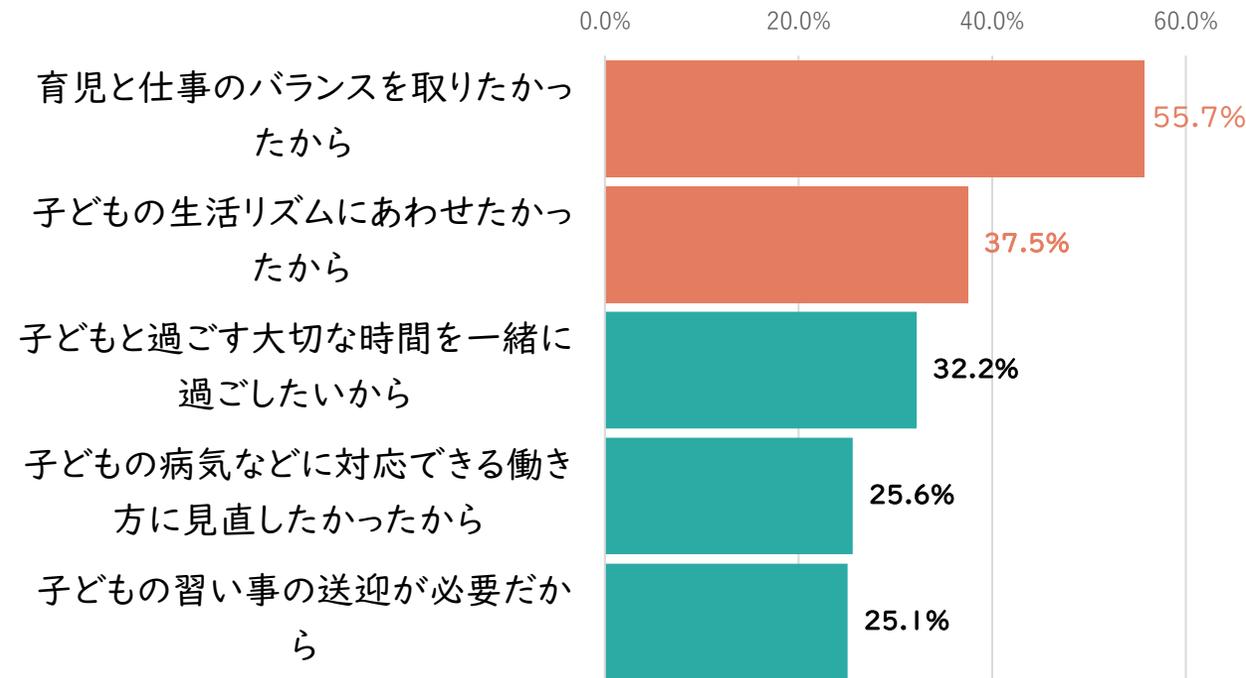
働き方を変えた人の約4割が、時短や正社員から別の雇用形態へ変更
変更理由として、育児と仕事のバランスや、子どもの生活リズムに合わせるため
といった、柔軟な働き方を求めて就労形態を見直した回答があった

子どもの小学校入学前後、
実際どのように働き方を変えましたか？(n=379)

- 正社員から別の就労形態に変更した
- 職場は変えないまま、時短勤務に変更した
- 職場は変えないまま、リモート勤務に変更した
- 正社員以外の就労形態から、別の就労形態に変更した
- 起業した
- 主婦からあらためて働き始めた
- その他

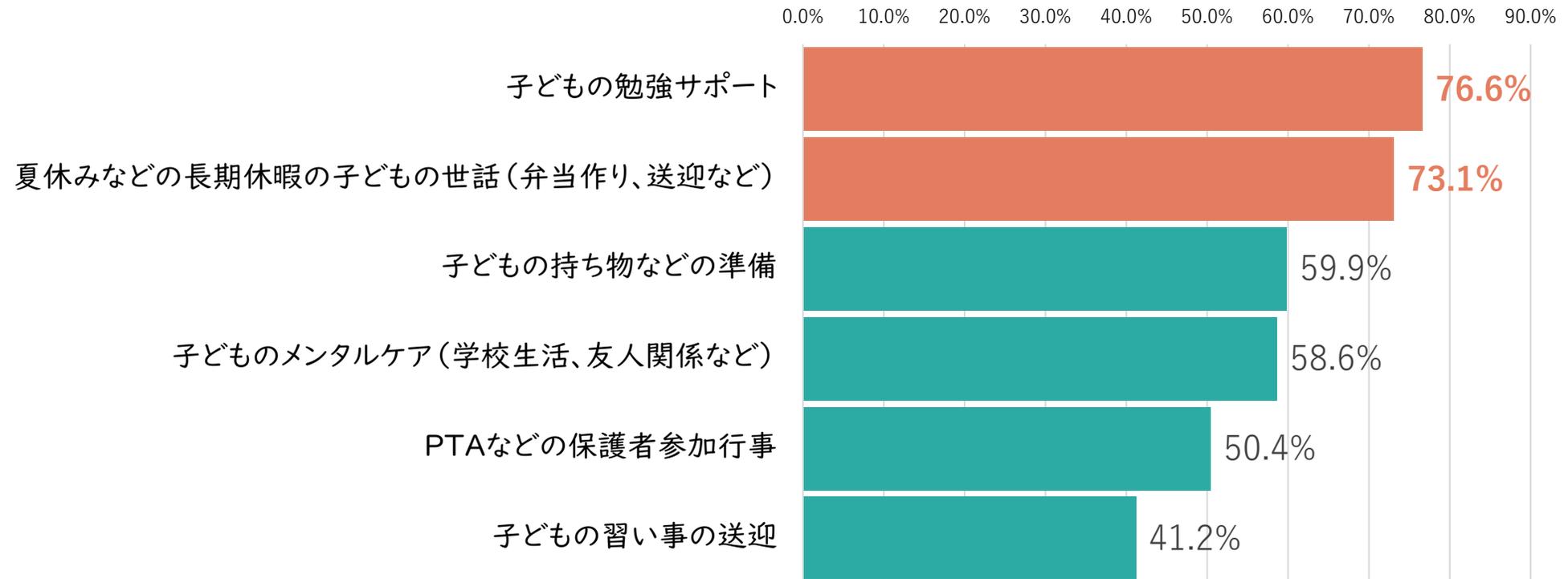


働き方を変えた具体的な理由を
全てお答えください(n=379、複数回答)



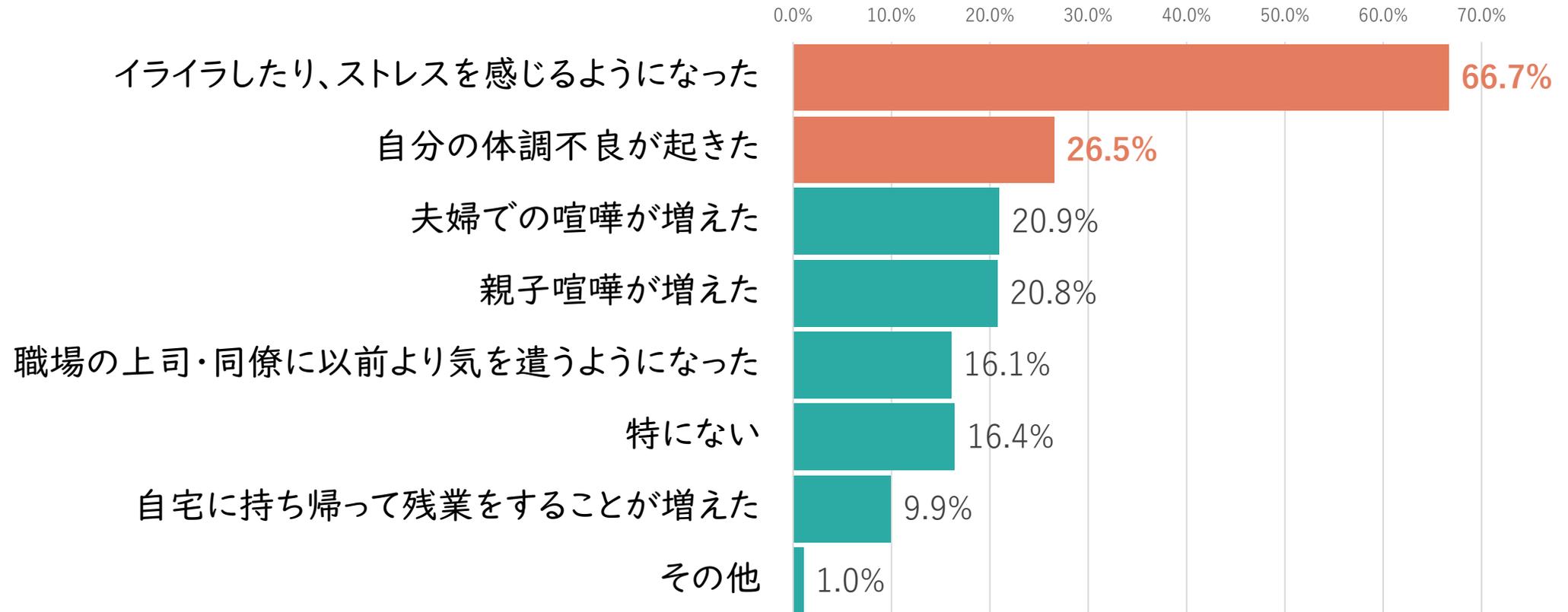
増えたと感じる負担（や悩み）は、子どもの勉強サポートや長期休みのケアといった保育園時代には少なかった悩みが上位に

具体的に増えたと感じる子育ての負担（や悩み）を全てお答えください
(n=573、複数回答)



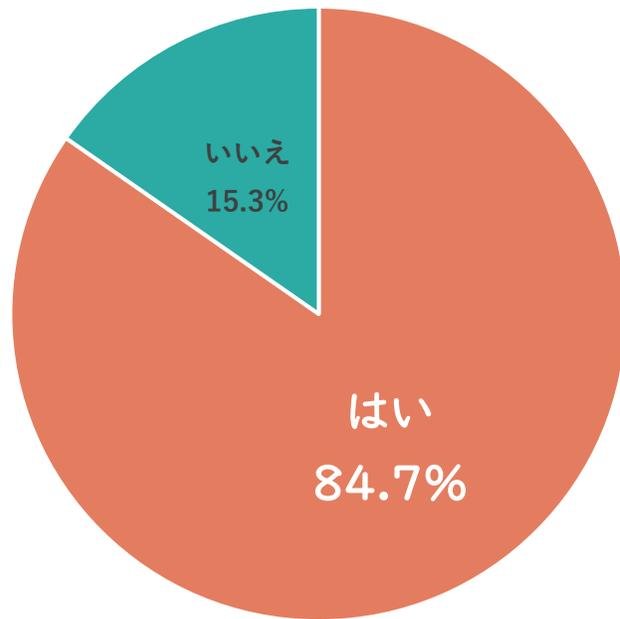
負担が増えたことで、ストレスを感じたり、体調不良が起きるケースも

具体的に増えたと感じる子育ての負担(や悩み)を
全てお答えください(n=573、複数回答)

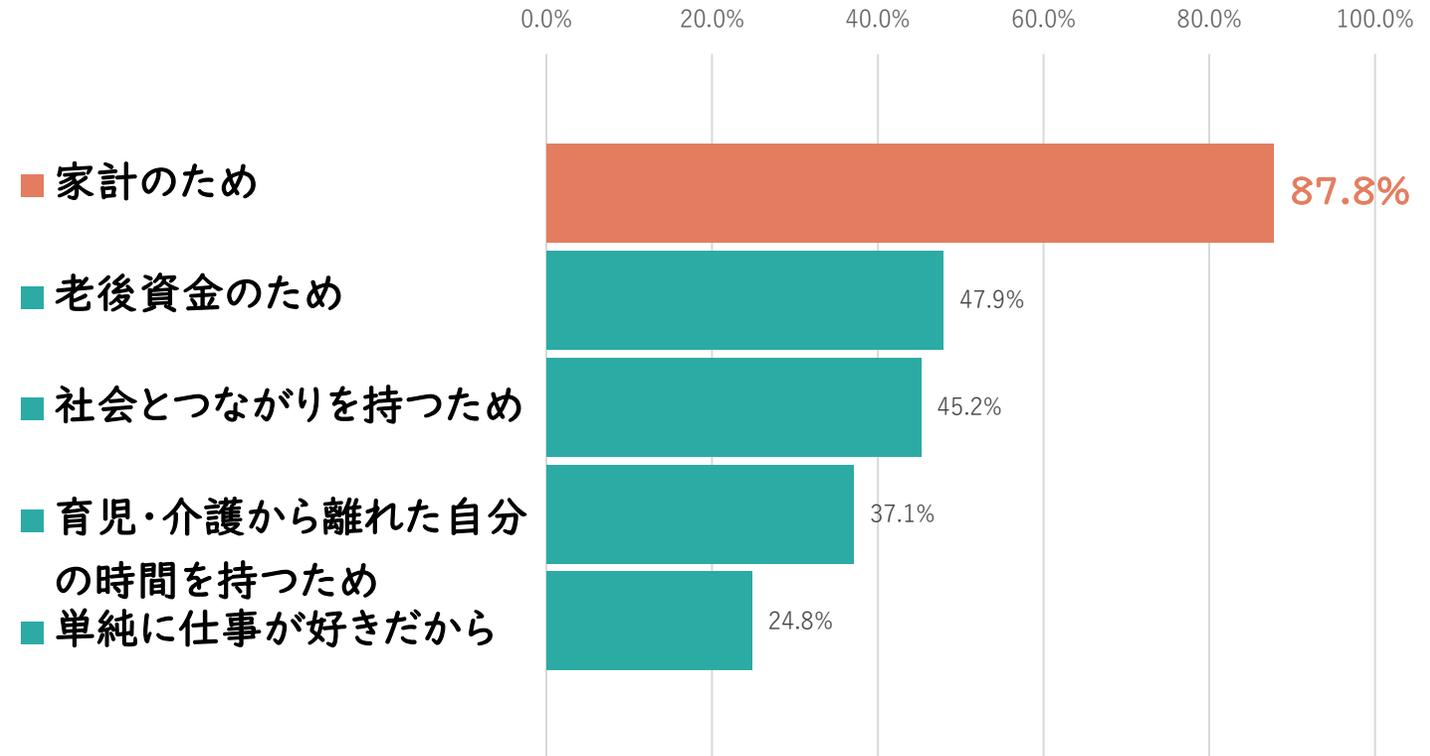


子育てと仕事の両立は大変(84.7%)と感じつつも、 家計のために働く(87.8%)

働きながら子育てするのが大変だと思うことは
ありますか?(n=1000)



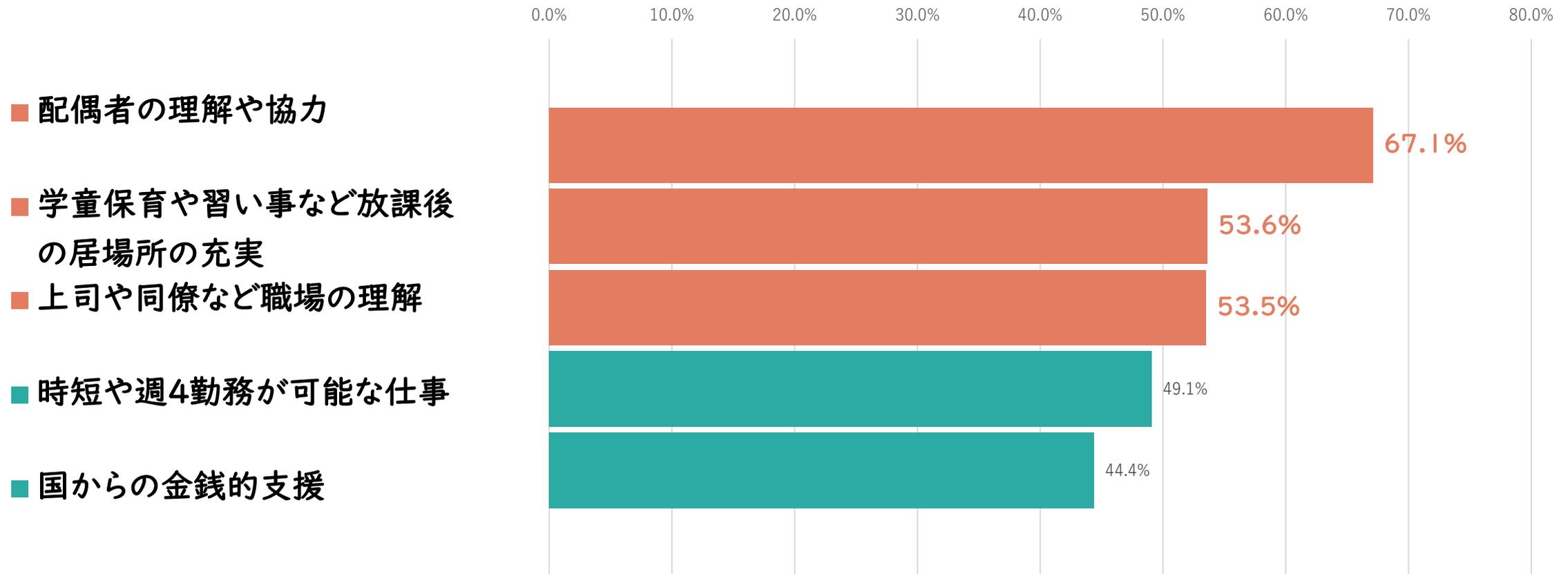
あなたにとっての働く意義をお聞かせください。
(n=1000、複数回答)



子育てと仕事の両立のための三要素は「配偶者の理解 (67.1%)」、「放課後の子どもの居場所 (53.6%)」、「職場の理解 (53.5%)」

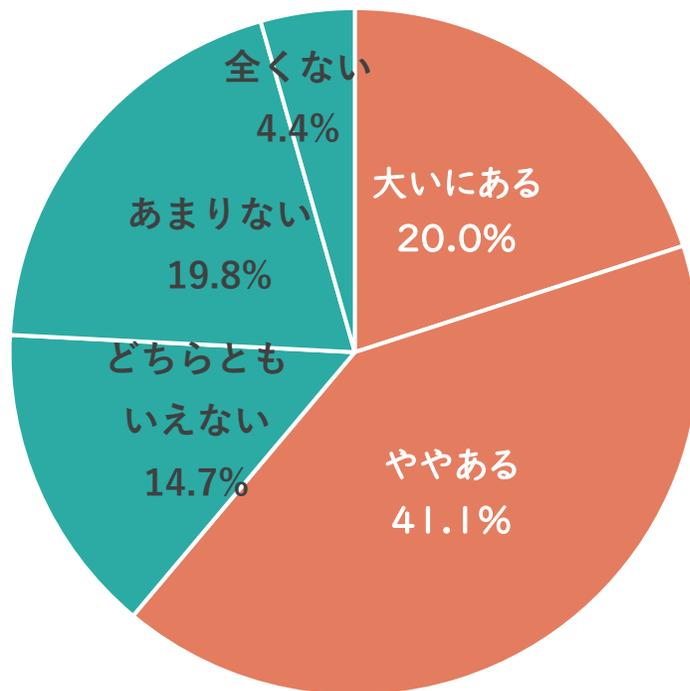
子育てと仕事の両立のために必要だと思うことを教えてください。

(n=1000、複数回答)

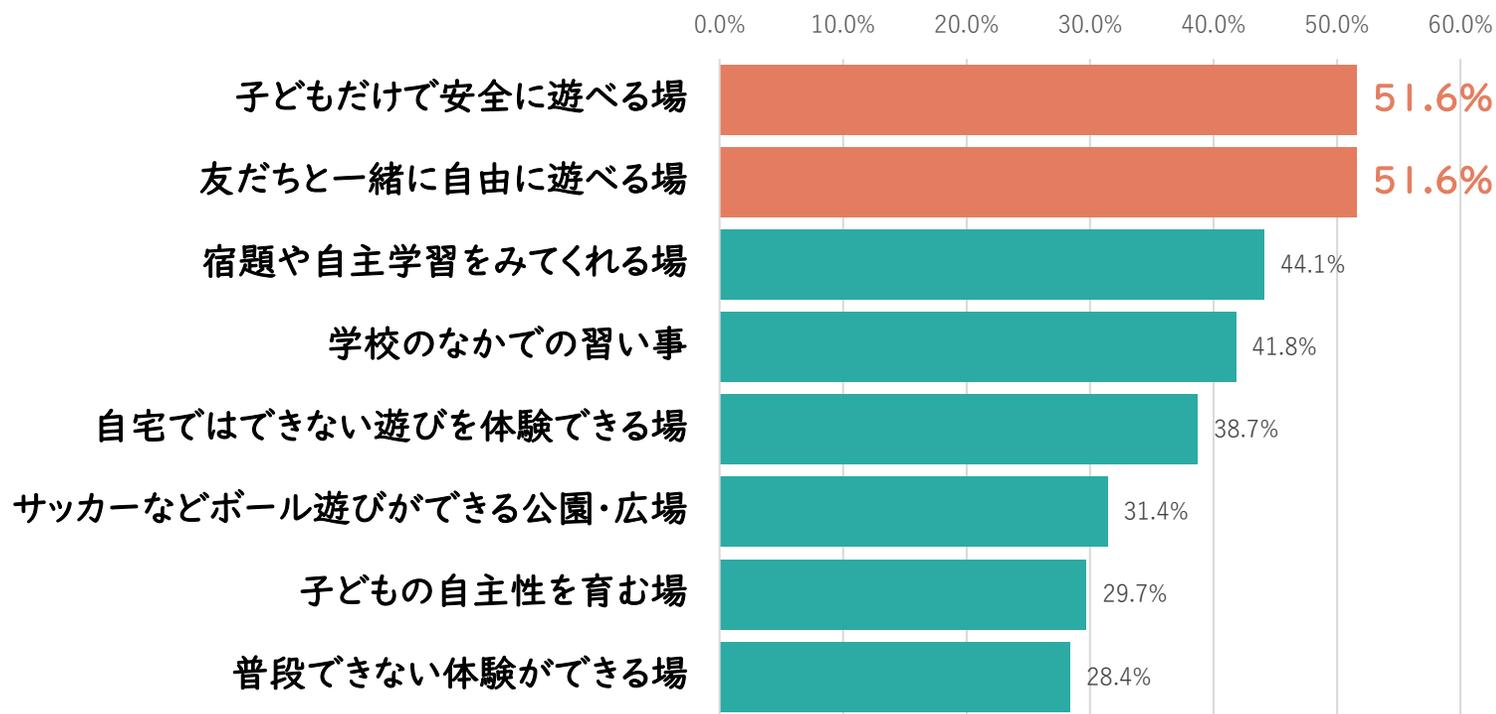


61.1%が子どもの放課後の過ごし方に悩む
放課後の充実に求めるものは、「子どもだけで安全に遊べる場」、「友達と一緒に自由に遊べる場」（それぞれ51.6%）

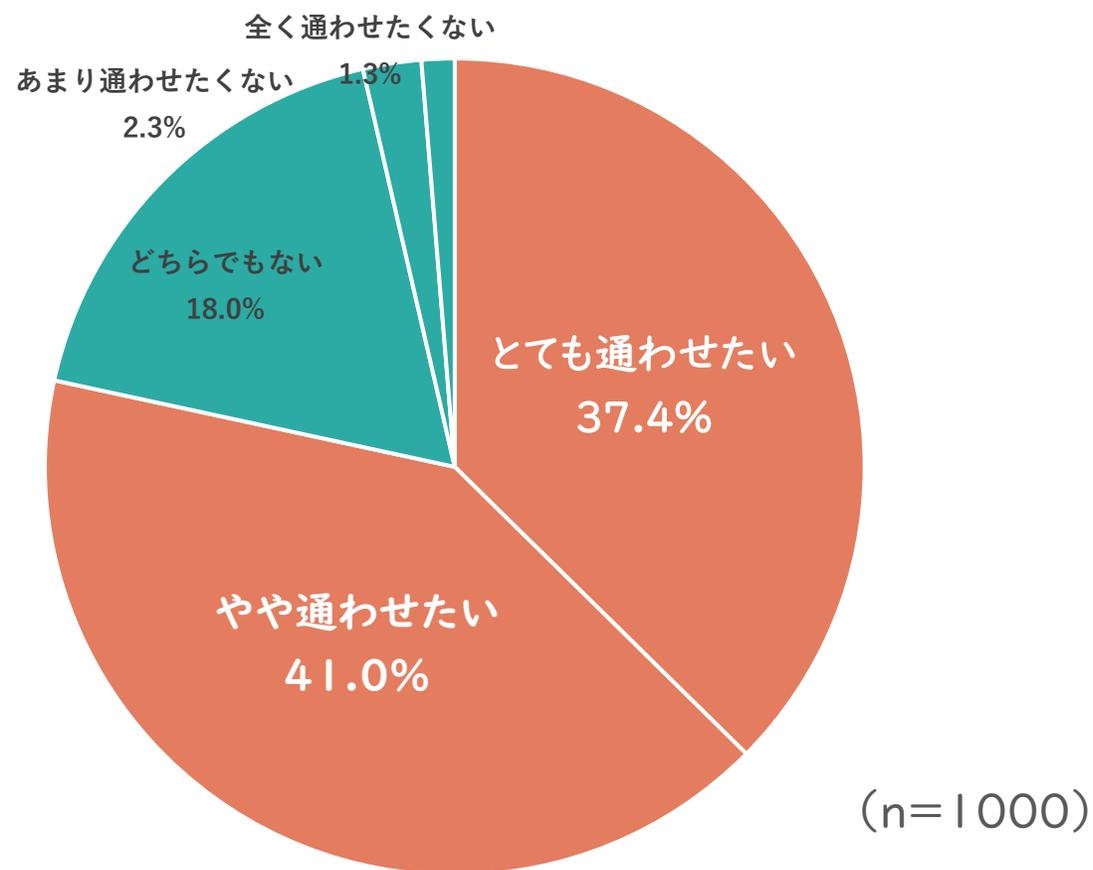
子どもの放課後に関連した悩みを感じることはありますか？(n=1000)



子どもの放課後に充実を希望するサービスや場はありますか？(n=1000、複数回答)



放課後に学校施設を活用し、保護者の就労形態にかかわらず、希望するすべての子どもへ、安心安全で、多様な体験機会と学びを提供する居場所に対しては、78.4%が「通わせたい」。



学校施設を活用した居場所に対するコメント抜粋

- 学校という安心安全な場所で時間を過ごせることはとてもありがたい。中学年になると学童から追い出されるので居場所が必要。
- 夫婦ともにリモートワークでストレスフルなところに、夕方帰宅した子どもに話しかけられて、正直仕事が進みづらく、どこか安全安心な場所で仕事が終わるまで遊び+宿題などしてもらいたい。
- 親が日中就労していると、してあげられることに制限があり、様々なことを体験できる場があってほしい。
- 家にいるとゲームばかりになってしまうので、ゲーム以外のことをやってほしい。習い事の送迎が大変。
- 学童が利用できなくなる小4以上で、安全に過ごせるところが欲しい。
- サービス業の為、土日仕事、日々長時間労働の為、子どもだけで過ごす時間が多く、子どもはただテレビ見るだけ、ゲームするだけ、の時間が多い。安心して預けられる場所があればありがたい。
- 居場所確保、時間の有効利用の意味で習い事に通わせているが、友達や家族以外の大人と安全に楽しく過ごすことも子どもの健全育成には必要。